

「特定非営利活動法人 Music life partner」は、演奏家、高齢者、障害を持つ方、学校や指導者が抱える諸問題に取り組みます！

私たち特定非営利活動法人 Music life partner はそれぞれ異なる立場の当事者が抱える諸課題に取り組みます。

① 演奏家の悩み・課題

- ・本物の演奏を多くの人に届けたいが、演奏家のクオリティとボランティア活動の両方をバランスよく保つ事が難しい。
- ・正規の報酬が受けづらい。
- ・何か月も前に演奏依頼をいただいて準備してもキャンセルになった場合の補償がない。

解決方法：当団体が間に立ち依頼する側に演奏家の見えない部分をご依頼者に伝え支払い金額に理解を促す。または当団体が補填を出す。

② 高齢者・障害を持つ方の悩み・課題

- ・気軽に演奏家のコンサートに行っておく音楽に触れる機会が少ない。
- ・交通弱者も多く会場まで出向く事が難しい。

解決方法：老人ホームや施設へ訪問活動。今までは各自の音楽家や趣味の延長の方々が厚意で演奏をして来たが、当団体が申請する補助金等により音楽家には正規の支払いや交通費が支払われ、施設は安価または無料でクオリティの高い生演奏が聴ける。

③ 学校の悩み・課題

- ・子供たちの感性を育てるために本物の生演奏に触れる機会が少ない。
- ・予算やカリキュラムが決まっており、やりたくてもやれない事情がある。

解決方法：部活移行の受け皿の支援に目を向け、プロの音楽家のコネクションを使い、子供たちの音楽技術向上のサポートを行う。学校教育に向けた色々なジャンルのプロのコンサートを提案。

④ 指導者の悩み・課題

- ・指導スキルを上げるような学べる場が少ない。
- ・アドバイスや相談する先がわからない。
- ・若手や担い手が少なくなっている。

解決方法：音楽の先生方の授業をサポート。

合唱練習の仕方、合奏練習の進め方や効率の良い指導方法など。選曲等。Zoom やスカイプなどを使用し気軽に相談をしていただける。

① ～④について

法人の主旨に賛同したプロの演奏家に協力をあおぐことができるので、質の高い演奏を届けることができます。(予算や出張演奏など)依頼者に寄り添ったコーディネートも可能。

音楽や演奏における中間支援団体になることで、多様な音楽に触れる機会を作ることができます。

また気軽に相談やアドバイスなど、音楽に関するサポートを受ける事も可能になります。

以上の活動を行うに当たって、特定の企業の利益を目的とすることなく、広く一般市民への貢献を目的とする趣旨から、特定非営利活動法人を設立が望ましいと考えます。

皆様の幅広いご支援とご参加をお願いいたします。

2 申請に至るまでの経過

2010 年プロの演奏家集団ヴェントディムジカ結成

2011 年東日本大震災チャリティコンサート開催(ヴェントディムジカ)

2018 年 8 月～長岡市民に向けた参加型ミニコンサートを企画(毎月開催)

“みんなで歌おう歌声の輪”(大人向け 14:00～)と“お歌で遊ぼう音楽の輪”(未就学児向け 10:45～)(ヴェントディムジカ)

2020 年団体のメンバー数名でアミーゴ倶楽部結成(コロナ禍初期投げ銭ライブとライブ配信を企画)

2021 年 7 月～新潟市民に向けた参加型ミニコンサートを企画(毎月開催)

“マスクで歌おう歌声の輪”(ヴェントディムジカ)

2021 年長岡市民に向けたコンサート企画(2 回)

2022 年長岡市民に向けたコンサート企画(4 回)

2022 年会員間で法人化の意思確認

<http://music-life-partner.org/>